

# TV会議システムを活用した 学校間交流

茨城県立石岡第二高等学校

佐々木 優子

# 日時・場所・参加者

- 平成21年6月15日(月)
- 石岡第二高校コンピュータ室において
- 参加者
  - 茨城県立石岡第二高校 アニメ漫画部
  - 茨城県立常北高校 パソコン部
  - 各校の教員
- 前回は平成20年12月16日(火)に実施

# 目的

文化部

パソコン部  
アニメ漫画部



外部の人間に活  
動内容を紹介する  
機会が少ない



TV会議システムを  
活用して  
積極的に交流することが  
できないか？

# 石岡第二高校 アニメ漫画部(3名)と教員



# 常北高校 パソコン部(8名)と教員



# 学校間交流の流れ

- 画面越しにじゃんけん(自己紹介の順番を決定)
- お互いの自己紹介
  - 方法1:PPT資料作成→「アプリケーション共有」
  - 方法2:「チャット機能」を用いる
- 部活動紹介
  - 「デスクトップ共有」→部活動で作成したイラスト鑑賞
- 文化祭の紹介
  - 「アプリケーション共有」→学校HP(文化祭の紹介や学校の地図)閲覧
- メールアドレス交換・自作ブログ紹介

# TV会議システム画面



# 交流の様子

部員が増えた  
んですね！

自己紹介スライド  
分かりやすい！  
うちらも作ればよ  
かったなあ～



描いた絵をスキャナで取り込みデータ化する  
→デスクトップ共有機能でお互いに鑑賞しあう



# 交流の様子



イラスト  
上手で  
すね～

文化祭があ  
るんですね。  
行きます！

# 生徒のコメント

- 楽しかった。もっと会話がしたかった。
- 話していると楽しかったので、時間が過ぎるのが早くて、もっと話したいと思った。
- もし次回があればもっと話してみたい。そしてスライドとかも作ってみたい。

# 後日談

(石二の文化祭に、常北の生徒さんが来た！)



# 良かった点

- TV会議システムを活用したことで、内向的で恥ずかしがりやの生徒も、前向きかつ外交的で積極的になった。
- アニメ漫画部員としての実行力や表現力が身に付いた。(作品作りを通して成長が見られた)
- 生徒のアドリブが上手になり、コミュニケーション能力が向上した。
- 画面上の付き合いから始まったが、趣味の話題を膨らませるなど親睦を深めて、実際に文化祭を通じてお互いに顔合わせをし、新たな友情を育むことができた。

# 悪かった点

- タイムラグがあるため、少々慣れが必要。
- 最初は教員が主導しないと難しい。
- パワーポイント資料などを用意すればよかった。
- 多機能なので、少々慣れる時間が必要。使いながら「これはどうやるのかな？」と手探りで模索していく方がよい。
- 途中、別の人と同じIDでログインしたため、自動的にはじかれてログアウトされてしまうことが1回あった。

# まとめ

- TV会議システムを活用することで、**距離を感じず本当に対面したかのような交流**ができた。
  - 普段は内向的な生徒でも、TV会議システムを通すと次第に惹きこまれて生き生きと活動を始めた。
  - 普段は遠出をしないという常北高校の生徒さんが、はるばる電車に乗って石岡二高までやってきた。

TV会議システムは、**生徒たちに新たな活躍の場を与え、新たな人間関係の輪を広げる大きな可能性を秘めている。**